# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

兵庫県明石市

## 自治体の課題、現状

○明石市では、「子どもを核としたまちづくり」を重点的に取組んできた結果、現在も人口が増加しており、1競技を除き、各学校での単独チームが編成できている。
○顧問を敬遠する傾向があることから、兼職兼業を希望する教員は2割程度であるため、教員以外の指導者確保が喫緊の課題である。
○持続可能な、生徒がスポーツをする機会の確保策が求められ、多くの地域クラブが立ち上がるように、地域クラブの事務負担（指導者謝金の源泉処理、保険加入処理等）の軽減を図る方策を検討している。

## 地域クラブ活動等の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中学校数 | 13校 | 全生徒数 | 8,008人 |
| 域内の部活動数 | 160部 | 実施した地域クラブ数 | 2クラブ |
| 全体の指導者数 | 29人 | 全体の運営スタッフ数 | 8人 |
| 主な運営団体 | 明石市剣道連盟・明石市柔道協会 | | |
| 主な種目 | 剣道・柔道 | | |
| 平均的な活動回数 | 4回/月 | 年間平均参加生徒実数 | 3年：10人/クラブ<br>2年：42人/クラブ<br>1年：55人/クラブ |
| 参加会費 | 0円/月 | 主な活動場所 | 市内中学校 |

## 取組の概要や成果

○中学校部活動に関連する市体育協会加盟団体を実施主体として取組んでいただくよう働きかけ、昨年度からの市剣道連盟に加え、市柔道協会と業務委託を行い、モデル事業を実施した。
○上記のことから、明石市では、教育委員会が運営主体、剣道連盟・柔道協会が実施主体の体制で「地域展開」に取組んでいる。
○平日の指導者の指導方法に相反しないよう、「競技の基本」「競技の楽しさ」に主眼を置き、参加生徒のニーズ、習熟度に応じた指導を徹底している。

## 運営体制図

